

授業科目名・形態	介護過程V	講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	今野 修		実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

本人の望む生活の実現に向けて、利用者の思いを汲み取り、様々なアセスメントツールを使用した生活課題の分析を行い、さらに根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を学習する。また、介護実習で学んだ知識や経験を活かした介護過程を展開し、個別で考えた介護サービス計画に基づく利用者主体の介護サービスが提供できる能力を養うことを目的とする。

【到達目標】

- 1) ケアマネジメントと介護過程の連動性と、それを行うためのチームアプローチの必要性を理解することができる。
- 2) 介護過程に使用される様々なアセスメントツールを理解することができる。
- 3) 生活支援の意味を理解した上で、クライアントの思いに沿った個別援助計画が作成できる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 オリエンテーション、ケアマネジメントと介護過程
- 第 2 回 介護過程とチームアプローチ
- 第 3 回 KOMI チャート理論を用いた介護過程展開
- 第 4 回 ストレングス理論を用いた介護過程展開
- 第 5 回 生活7領域を用いた介護過程展開
- 第 6 回 認知症のアセスメント・シートを用いた介護過程展開①（センター方式シートを使用して）
- 第 7 回 認知症のアセスメント・シートを用いた介護過程展開②（ひもときシートを使用して）
- 第 8 回 その他様々なアセスメントツールを用いた介護過程展開
- 第 9 回 個別事例で考える介護過程展開①(アセスメント・シートの作成)
- 第 10 回 個別事例で考える介護過程展開②(アセスメント・シートの作成)
- 第 11 回 個別事例で考える介護過程展開③(ケアプランの作成)
- 第 12 回 個別事例で考える介護過程展開④(ケアプランの作成)
- 第 13 回 個別事例で考える介護過程展開⑤(発表)
- 第 14 回 個別事例で考える介護過程展開⑥(発表)
- 第 15 回 まとめ

【授業実施方法】

講義および演習にておこなう。

【授業準備】

実習での学びの振り返りを可視化できるように整理しておいてください。

【主な関連する科目】

介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座9 介護過程, 中央法規出版, 2022.2

【参考文献】

森繁樹：事例で読み解く介護過程の展開, 中央法規, 2015.

【成績評価方法】

課題物および演習態度等による総合的評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院や老人保健施設等で多くの高齢者への看護の経験を積んできました。その経験を生かして、介護福祉士の専門性が発揮できるための根拠に基づいた実践方法を、問題解決志向の視点から一緒に学んでいきたいと思っております。

【学生へのメッセージ】

介護過程とは、系統的で理論的根拠を持った課題解決のための思考過程であることを一緒に学んでいきましょう。